

## 日本物理学会領域 2 運営会議議事録案

日時: 2022 年 9 月 13 日(火) 17:00–18:00

W621 会場

司会: 領域 2 代表 千徳, 参加者 30 名弱, 書記: 沼田

### 報告・議論事項

- 1) 2022 年 10 月からの役員体制・役割分担
- 2) 2023 年 4 月からの領域代表, 副代表の推薦
- 3) 第 77 回年次大会 (2022 年春) 学生優秀発表賞に関する報告
- 4) 米沢富美子記念賞 受賞候補者の募集について
- 5) 2023 年春季大会 シンポジウム・招待講演等の提案
- 6) 領域委員会報告
- 7) 領域 2 での確認事項と議題
- 8) 講演件数の推移
- 9) 講演概要集提出率
- 10) その他

### 報告・議論内容

- 1) 2022 年 10 月からの役員体制・役割分担

下記体制を承認した.

領域代表	千徳 靖彦 (大阪大学)
領域副代表	藤堂 泰 (核融合科学研究所)
領域副代表	稲垣 滋 (京都大学)

運営委員 (藪内, 四籠, 齋藤, 佐々木, 三瓶, 菊池)、役員 (本島, 相羽, 福田)

2023 年 10 月からの次期役員の候補 年内まで立候補待ち (領域代表まで連絡)

2023 年春季大会運営会議で審議

- 2) 2023 年 4 月からの領域代表, 副代表の推薦

2023 年 4 月からの役員体制を承認した. 10 月下旬までに物理学会に推薦書提出, 11 月領域委員会において承認予定

次期領域代表	藤堂 泰 (核融合科学研究所)
次期領域副代表	長崎 百伸 (京都大学)

- 3) 第 77 回年次大会 (2022 年春) 学生優秀発表賞に関する報告  
28 名の応募者から、以下 5 名を選出。なお、2021 年秋季大会から受賞回数の上限が 2 回までとされた。

- 梅崎 大介 氏 (九大院工)  
「ダイバータプラズマにおける大角度散乱を利用した粒子輸送制御」
- J.J. Simons 氏 (SOKENDAI)  
「Evaluation of saturated absorption condition of hydrogen Balmer-alpha line due to laser pumping」
- 杉本 馨 氏 (阪大理)  
「相対論的レーザープラズマ相互作用における線形 Breit-Wheeler 過程による電子・陽電子対生成」
- 瀧澤 龍之介 氏 (阪大レーザー研)  
「超高コントラストレーザーによる核融合プラズマの加熱」
- 皆川 裕貴 氏 (日大生産工)  
「光渦レーザー吸収分光法における方位角ドップラーシフトの絶対値評価」

- 4) 米沢富美子記念賞 受賞候補者の募集について

領域 2 の締切：2022 年 10 月 21 日

提出先：領域副代表 藤堂

- 5) 2023 年春季大会 シンポジウム・招待講演等の提案

現在、企画講演、招待講演、シンポジウム 0 件。提案していただくように周知した。  
学会の公募受付は 10 月下旬締切

企画セッション 現在 1 件進行中

2021 年秋季大会より「トリガーを捉えるメタステート科学」

2022 年秋季大会での発表件数は 12 件。

2023 年春季大会まで 4 回。申請によりさらに 4 回の延長可能。

他分野と交流を深めるために有用と思われるので、新規提案していただくように周知した。

若手奨励賞受賞記念講演は最大 2 件。現在審査中。

なお、来年から応募は自薦とすることを承認した。審査項目は公開になっており、応募者が自ら広がり、他分野への波及効果についてアピールすることを期待する。

6) 領域委員会報告

オンライン開催の是非について

理事会からの提案があった「年1回対面, 年1回オンライン」の方針が承認された. ハイブリッド開催は負担が大きいため行わない. 春, 秋いずれをオンラインとするかは未定. 2023年は春季大会をオンライン開催, 秋年次大会をオンサイト開催. 次回, ビーム物理領域は秋年次大会に開催する.

7) 領域2での確認事項と議題

以下の事項について再確認された.

- Plasma メーリングリストの運用
- 学生優秀発表賞
- シンポジウム, 招待講演
- シンポジウム等での online 登壇

領域で対応できるのであれば online 登壇は可能. 海外からの参加者の可能性を広げるという議論がある.

8) 講演件数の推移

一般講演 112 件

110 前後で安定はしているが, 今後増やしたい.  
年会の講演数は若手奨励賞の数に影響する.

9) 講演概要集提出率

概要提出率は 107/112

今後も高い提出率は維持していきたい.

10) その他

懇親会は開催しない.

物理学会の招待講演, シンポジウムは制約(「招待講演は共著者が推薦できない」, 「企画講演は同じ所属の人が推薦できない」など)が多くて提案しにくい, 講演者や内容が適切かは領域役員会議・運営会議で審議されるので, 申し込み段階での敷居は下げてもどうかという意見があった. また, 運営会議で, 科研費, 予算等の情報を共有する機会を設けてはどうかという提案があった. 提案については継続して議論する.

以上